

ご寄付ありがとうございます

## 小野小町ふるさと応援寄付金

「小野小町ふるさと応援寄付金」へご協力をいただき、小野町を応援していただいています。

寄付金を納入いただき、広報紙への掲載承諾があった方は次のとおりです。

吉田 正喜 様(埼玉県新座市)  
國分 紀光 様(東京都府中市)

地域の「がんばり」応援します！

## 小野町 60 周年記念事業

小野町地域づくり応援事業補助金は、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、地域の活性化や地域の課題解決等を目指し、自主的かつ自立的に活動する住民活動団体に交付し、まちづくり活動を支援するものです。

- 補助の対象となる事業は、町内で実施される新規のまちづくり事業です。
- 「まちづくり事業」とは地域の活性化や地域の課題解決等を目指し、住民の利益の増進に貢献することを目的とするものです。

補助率	80%
補助金の上限	10万円
新規に行う次のような事業に活用できます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統芸能、文化財の保護や継承に関する事業</li> <li>・三世代の交流事業</li> <li>・地域環境の保全、美化等に関する事業</li> <li>・地域のお祭りの記念イベントなど</li> </ul>

企画政策課 ☎72-6939

## オータムジャンボ宝くじ

◆発売期間◆

9月28日～10月16日

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。



おすすめの本

9月21日は敬老の日。今月は元気なお年寄りが登場する本をご紹介します。



一般書

『窓から逃げた100歳老人』

(ヨナス・ヨナソン／著 西村書店／刊)

アランは100歳の誕生パーティーの直前、老人ホームから脱走し、バス乗り場でひよんなことからギャングが持っていた大金入りのスーツケースを手に入れてしまいます。ギャングや警察に追われながらアレンは逃走を続けます。アレンがスターリン、宋美麗といった世界の要人と関わっていた若い時代の出来事と逃走中の出来事が交互に語られ話は進みます。そんなのウソでしょう!?!と思いつつも先が気になってつい読み進めてしまうスウェーデン発のコメディ小説です。



児童書

『だってだってのおばあさん』

(さのようこ／作・絵 フレーベル館／刊)

ある家におばあさんと1匹の元気な猫がすんでいました。猫はおばあさんを釣りに誘いますが「だって私はおばあちゃんだから…」と出かけてくれません。そんなおばあさんの誕生日に猫はケーキ用のろうそくを5本用意します。おばあさんはケーキにろうそくをたてると「私5さいになったんだわ。5さいなんだから…」と猫と元気に出かけて行って…。かわいらしい素敵な絵本です。

(幼児～小学校中学年向き)